

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年12月12日(2019.12.12)

【公開番号】特開2018-89079(P2018-89079A)

【公開日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2018-022

【出願番号】特願2016-234522(P2016-234522)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/032 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/02 C

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月28日(2019.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

視標光束を被検眼に向けて投影する投光光学系の光路中に配置され、視標光束の光学特性を変化する矯正光学系と、を備え、前記矯正光学系の乱視軸角度成分に基づいて、被検眼の乱視軸角度を自覚的に測定する自覚式検眼装置であって、

被検眼の傾き情報を取得する取得手段と、

前記取得手段によって、取得された前記傾き情報に基づいて、被検眼の傾きをキャンセルするための補正手段と、

を備え、

前記補正手段によって、被検眼の傾きがキャンセルされた状態での被検眼の乱視軸角度が取得可能であることを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項2】

請求項1の自覚式検眼装置において、

前記矯正光学系は、左右一対に設けられた右被検眼用矯正光学系と左被検眼用矯正光学系を有し、前記右被検眼用矯正光学系と前記左被検眼用矯正光学系は、被検眼に対してそれぞれ位置合わせができる、

前記取得手段は、前記右被検眼用矯正光学系を右の被検眼に位置合わせした際の第1位置情報と、前記左被検眼用矯正光学系を左の被検眼に位置合わせした際の第2位置情報と、を検出し、前記第1位置情報と、前記第2位置情報と、に基づいて、前記傾き情報を取得することを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項3】

請求項1または2の自覚式検眼装置において、

前記補正手段は、前記傾き情報に基づいて、前記矯正光学系の前記乱視軸角度成分を補正することで被検眼の傾きをキャンセルすることを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項4】

請求項1～3のいずれかの自覚式検眼装置において、

前記補正手段は、前記傾き情報に基づいて、前記乱視軸角度成分を示す乱視軸角度成分情報を補正することで被検眼の傾きをキャンセルすることを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項5】

視標光束を被検眼に向けて投影する投光光学系の光路中に配置され、視標光束の光学特

性を変化する矯正光学系と、を備え、前記矯正光学系の乱視軸角度成分に基づいて、被検眼の乱視軸角度を自覚的に測定する自覚式検眼装置において用いられる自覚式検眼プログラムであって、前記自覚式検眼装置のプロセッサによって実行されることで、

左右の被検眼の前眼部画像を取得する前眼部取得ステップと、

前記前眼部画像を解析して、被検眼の傾き情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップによって、取得された前記傾き情報に基づいて、被検眼の傾きをキャンセルする補正ステップと、

を前記自覚式検眼装置に実行させることを特徴とする検眼プログラム。